

木越 洋 × J.S. バッハ

バッハの無伴奏チェロ組曲は、シンプルながら世界中の音楽を集めた、壮大なスケールのセットとなっています。第1番から第6番まで、どの組曲も次の6つの小曲によって構成されています。

- 1 曲目 プレリユード(前奏曲)
- 2 曲目 アルマンド(ドイツ風舞曲)
- 3 曲目 クーラント(フランス風舞曲)
- 4 曲目 サラバンド(スペイン～アフリカ風舞曲/あるいはボサノヴァ風)
- 5 曲目 メヌエツト/ブーレ/ガヴオツト(ポピュラー舞曲)
- 6 曲目 ジーグ(イギリス風舞曲)

さらにバッハは各曲の「プレリユード」に、その組曲全体の性格を表現したのではないかと私は思うのです。言葉にするとこんなイメージです。

- 第1番 自然崇拜
- 第2番 決別、受難、勇気
- 第3番 創造～初めに「声」ありき
- 第4番 安らぎ、勝利の美酒
- 第5番 トッカータとフーガ、即興
- 第6番 天上の楽園、至福

もっとも、彼に聞くわけにもいかず、本当のところはわかりません。ただ、もしバッハがこの様なことを考えていて、それが300年の時を経て、聴いてくださる皆様に伝わったなら、私は音楽の素晴らしさに感謝するでしょう。

木越 洋

木越 洋 きごしょう (チェロ)

静岡県出身。7歳より吉田貴寿氏に、12歳より齋藤秀雄氏に師事。1975年日本音楽コンクール第2位(1位なし)。1977年桐朋学園ディプロマコース修了。新日本フィルハーモニー交響楽団の首席チェロ奏者を経て、1978年から文化庁在外芸術研修員としてミュンヘン国立音楽大学に留学。ワルター・ノータス氏に師事。ミュンヘン国際音楽コンクールで入賞、ジュネーヴ国際コンクールでディプロマ賞をそれぞれ受賞する。

帰国後、1981年にNHK交響楽団に入団し、以後33年間にわたり首席奏者を務める。その功績が認められ、2010年には有馬賞が贈られた。2013年6月にN響を退団し、ソリスト、室内楽奏者としての活動を本格化。近年、継続して取り組んでいるバッハの

「無伴奏チェロ組曲演奏会」は、感動的な演奏として評価が高い。スケールの大きい朗々たる輝きとまろやかな美しい音色で聴衆を魅了している。また、2007年には「立って弾く」スタイルにも取り組むなど、新たな表現の可能性を模索している。

CDではロシア人ピアニスト、セルゲイ・クドリャコフやN響のコンサートマスター篠崎史紀らとの共演で5枚をリリース。

現在、洗足学園大学客員教授、桐朋学園大学講師として後進の指導にも尽力するほか、東京音楽コンクール等で審査員を務める。サイトウ・キネン・オーケストラには例年のように参加しているほか、スーパー・チェロ・アンサンブル・トウキョウのメンバーとしても活躍している。

くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00～16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分

